

オンライン公開シンポジウム

2022年

3月11日(金)

13時から17時まで
オンライン(Zoom使用)開催

主催:立教大学文学部人文研究センター

共催:立教大学江戸川乱歩記念大衆文化研究センター

※裏面に申し込み先、プログラム詳細を記しています→

「文学」

二十面相

テクノロジーの挑戦

～宝箱〈江戸川乱歩〉をひらく～

第十八

ぎい

九十銭

●テーマと主な発表者

「3D乱歩邸みてまわりの構築」 岩井 将行

「乱歩の生きた家と暮らしを誌す」 野中 健一

「乱歩邸建築の再評価と平井家の生活史」 石樽 督和

「文学作品分析のためにテキストマイニング—GITAIの開発—」 安武 凌

「『黄金仮面』を読む—共起ネットワーク GITAIの実践例—」 塩井 祥子

「乱歩 GIS マップの作成—」 小泉 諒

「文学作品分析のためのデータ収集—乱歩の食・嗜好品—」 丹羽 みさと

「乱歩物品資料撮影とデータベース構築」 末永 芽久

「乱歩の旅を辿る—映像に見る今昔対比—」 丹羽 みさと

「映像を効果的にみせるためのBGMづくり—乱歩の生きた世界へいざなう—」 望月 敬子

「いろいろ乱歩 Web の構築—可変的データベースとの連携と人への注目—」 鳴海 秀人

●コメント

伊藤昌毅 (東京大学大学院情報理工学系研究科准教授)

平井憲太郎 (株式会社エリエイ代表取締役)

小松史生子 (金城大学文学部教授)

小牧龍太 (立教大学文学部特任准教授)

山本和明 (国文学研究資料館教授)

いろいろプロジェクト

「文学」×テクノロジーの挑戦

●日時／2022年3月11日(金)13:00～17:00

●場所／オンライン開催(Zoom使用)

～宝箱〈江戸川乱歩〉をひらく～

2021-22年度文学部人文研究センタープロジェクト「人文学資料の情報メディア化に関する新たな手法開発と適用」では、江戸川乱歩邸と収蔵資料を用いて、情報メディアの活用、デジタルヒューマニティーズ、オープンサイエンスの観点から、アーカイビング、バーチャル・ミュージアム制作、新たな作品分析手法の開発、データベース構築を文理融合で研究を進め、従来の作品・作家研究から、家庭人、生活者として、家族や地域を含めた新たな乱歩世界の資料化と分析解明をおこなってきました。このプロジェクトに携わった者らの専門分野の視点から話題を提供し、人文学における情報メディア活用・デジタル化の可能性と課題について考えます。

Timeschedule

時間	タイトル	発表者
13:00	あいさつ 趣旨説明	浦野 聡(立教大・人文研究センター長) 野中健一(立教大)
13:10	第1部「時空間を覗く」 「3D乱歩邸みてまわりの構築」 「乱歩の生きた家と暮らしを誌す」 「乱歩邸建築の再評価と平井家の生活史」	岩井将行(東京電機大)・石出宗己・成尾一征(東京電機大・院) 野中健一・石樽督和(関西学院大)・丹羽みさと(立教大)・ 平井憲太郎(エリエイ)・末永 望夢(写真家) 石樽督和、金谷匡高(法政大)、砂川晴彦(東京理科大)
	コメント コメント	伊藤昌毅(東京大) 平井憲太郎
13:55	休憩(10分)	
14:05	第2部「作品を掘る」 「文学作品分析のためにテキストマイニング—GITAIの開発—」 「『黄金仮面』を読む—共起ネットワークGITAIの実践例—」 「乱歩GISマップの作成—」 「文学作品分析のためのデータ収集—乱歩の食・嗜好品—」	安武 凌(東京電機大・院)・塩井祥子(早稲田大・院)・岩井 将行 塩井祥子・安武 凌 小泉 諒(神奈川大)・野中健一 丹羽みさと
	コメント コメント	小松史生子(金城大) 小牧龍太(立教大)
15:15	休憩(10分)	
15:25	第3部「生きた世界を探る」 「乱歩物品資料撮影とデータベース構築」 「乱歩の旅を辿る—映像に見る今昔対比—」 「映像を効果的にみせるためのBGMづくり—乱歩の生きた世界へいざなう—」 「いざなう乱歩Webの構築 —可変的データベースとの連携と人への注目—」	末永 芽久(立教大・学)・末永 望夢・米山 大毅(立教大・非)・ 野中健一 丹羽 みさと・米山 大毅・王 羽萌(立教大・院) 望月敬子・長屋梨紗(Kotorine) 鳴海秀人(東京電機大・院)・岩井将行・犬山ハリコ(漫画家)・ 丹羽みさと・野中 健一
	コメント	山本和明(国文学研究資料館)
16:30	総合討論「全体討論」	
17:00	あいさつ 終了	小澤 実(立教大)



お申し込みはQRコードまたはURLから
<https://onl.la/t73NgFi>

※定員(1000名)に達し次第、締め切ります。